

## 令和元年度

### 「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点25点）

##### （設問1）

連結財務諸表を利用して、診断及び助言の基礎となる財務比率を算出する能力を問う問題である。

##### （設問2）

連結財務諸表に基づいた財務比率を基礎に、財務的な特徴及びその変化について分析し説明する能力を問う問題である。

#### 第2問（配点25点）

##### （設問1）

短期利益計画を検討するに当たって、基礎資料となる変動費率を事業部レベル及び全社レベルで算定する能力を問う問題である。

##### （設問2）

短期利益計画の策定に当たって必要となる損益分岐点売上高を算出する能力を問うとともに、その限界について理解していることを確認する問題である。

##### （設問3）

事業部ごとに異なっている原価構造を理解することによって、実態に即した目標を設定する能力を問う問題である。

#### 第3問（配点30点）

##### （設問1）

新規プロジェクトの損益予測情報を利用して、プロジェクトの将来キャッシュフローを算定する能力を問う問題である。

##### （設問2）

プロジェクトの安全性・収益性評価のために、予測情報に基づいて回収期間及び正味現在価値を算定する能力を問う問題である。

(設問 3)

代替的プロジェクトが存在する場合について、差額キャッシュフローを利用することによって合理的にプロジェクトの選択を行う能力を問う問題である。

第 4 問 (配点 20 点)

(設問 1)

子会社化された配送業務について助言するために必要となる、子会社化のメリットとデメリットに関する理解を確認する問題である。

(設問 2)

EDI (電子データ交換) の導入を検討するに当たって、その財務的な効果について助言する能力を問う問題である。

以上